

関西広域産業ビジョン（2023年改訂版）（素案）概要

「関西広域産業ビジョン」とは

関西経済が直面する課題等を踏まえ、めざす将来像を共有し、その実現のための方向性を示すことを目的に、2012年3月に策定、2019年3月に第1回改訂。本年度、近年の社会経済情勢の変化等を踏まえた内容に見直すため、第2回改訂を行う。

2023年度改訂のポイント

- ① 社会経済情勢の変化等を踏まえた将来像、目標設定（検証、点検）
- ② 将来像、目標達成に向けたアプローチの整理
- ③ 関西広域連合（広域産業振興局）の果たす役割の明確化

① 将来像、目標

ターゲットイヤーは2040年度。コロナ禍やウクライナ情勢等による影響は小さくないものの、2025年大阪・関西万博を機に生まれるチャンスを活かし、関西の成長・飛躍（産業振興）をめざすことをコアメッセージとするため、将来像、目標の根幹は変更なし。

【2つの将来像】

世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西
産業を支える多様な人材が活躍する関西

【数値目標】

関西（広域経済圏*）の経済、産業の国内シェアを25%、GRP額を約150兆円

*「関西（広域経済圏）」とは、関西広域連合構成府県市に、連携団体に指定している福井県、三重県を加えたもの。

② 将来像、目標達成に向けたアプローチ

3つの視点から、「めざす姿」とその実現をめざす「関西チャレンジ」を設定。

めざす姿	成し遂げたい関西のチャレンジ
新産業の創出・確立	関西チャレンジ① 世界共通の課題解決に貢献する、関西の代名詞となりうる産業の確立 「強みで貢献」
産業転換と深化	関西チャレンジ② 現状維持を超え、高付加価値化（新展開、深化）による持続的成長 「強みを活用」
産業基盤の強化	関西チャレンジ③ 競争力強化と魅力向上による成長の好循環を通じた、強みの発揮 「強みを発揮」

③ 関西広域連合（広域産業振興局）の役割

限られたリソースで効率的、効果的な取組みを実施するため、関西広域連合の存在意義に照らし、4つの価値（バリュー）を明確化。

- スケールメリット（規模の経済、域内最適化）
- シナジー（協働、相乗、相互補完）
- スピルオーバー（波及、浸透）
- ダイバーシティ（多様性、地域特性）